

ローズバーク  
日本人  
收容所  
知事  
十一月十一日  
水曜日  
才六八号

アフリカ攻略第四日

地中海沿岸では米軍優勢勢  
アルゼンチン平定近づく

次の行動はリビヤへ進出

キエーニシア知事は終に大統領ロイス  
ベルトの要請に順じて、米軍にキエー  
ニシア領通過の自由を乞へたが、之はア  
ルゼンチンのオラン軍港陥落と共に全  
表した。オランは米陸軍軍合同  
空軍援助の下に、米軍が占據した  
と倫敦I.N.S.が傳えた事実である。

(註) 米軍は西北アフリカ、特にアルゼン  
チンを平定すれば、直に南進して、東は、  
伊領リビアに進出して、ロメル軍司令下の  
独伊軍を挟撃すべく、一方北面して、伊  
太利の戦鬪を崩すが、地中海上の現在交  
戦区は、キエーニシアが最短距離である  
故に、予め、英米兩國が、外交的に右知  
事との諒解あり、知事は、大西洋憲  
章の條に依り、佛國の保護下より  
独立し得る確信を述べた事がある。  
一方、モロッコより南進、ダカールを衝く作

戦である。

又、大西洋沿岸、モロッコのカサブランカ中心  
の攻勢は、米海軍と空軍が、過去三日  
間峻烈を極め、水源地を擁して遮る無二  
陥落を企図して居る。佛國艦隊は其  
救援の爲め、連日海戦を續けて居るが、  
米國艦隊司令長官、ド、ヒュー、エ、ト、提  
督が、空軍と共同作戦に出で、今尚激  
戦中である。

尚、英國艦隊司令長官、F.A.カニング  
ハム提督は、米海軍と後見して、海上  
佛國艦隊の側面を衝いた。  
カサブランカの陥落近しい。

休戦記念日の世界展望

米國の大統領は、四年來には、九百七十万の  
カカ動員、可能なりと言明し、陸軍のサ  
に、三、四、五の兵力を増加し得る可く、  
残兵も残り無く、軍務に服さざる記者  
團を告げた。

大西洋上、極軸の潜水艦は、一層跳梁  
活動すべし、海軍にありと敬言せられた。  
佛國の倫敦十日、A.P.電報は、佛國

ラバル大統領は、ヒトラー大統領と、ムソ  
リー首相は、羅馬に於て、三頭會議  
を了へ、地中海制衡と、米國のアフリカ  
攻略に對する作戦を決定した。

濠洲のソロモン中將は、ソロモン群島の

の戦況視察を、歸華したが、日本兵數に  
對して、米國守備兵數多きが故に、悲觀  
を要せずと報告した。ア、方面に激戦  
中なりと。

英國の赤露は、獨軍の撤退を監視  
中なりと、カイロ方面では、ロメル軍を終  
に、リビアへ數手退いたと傳へた。

米國々民の戦争心理

最近、米國政府は、世界リヤニ大戦に對する  
全國民の心理状態を調査したが、其結果  
は大體次の如くである。ホークカッターが十  
月六日、A.エ、サ、ニ、紙上に發表した。  
クリスチアンヘラルド紙に發表した。  
ハインの記事を引照した評である。

- (一) 米國民の五割は、戦争の目的を不知  
無關心である。
- (二) 米國民の三割三、四分は、獨逸と平和  
折衝をすすむべき心理。

随つて米國民の心理状態は、國民の半分  
は、戦争が有つても無くても、關心せず、  
残りの、半分の國民中、即、五、三、三、  
の比率にて平和希望者が多い訳である。

ソロモン島

最近の事情を語る

華府十日、(國際通信) 合衆國海兵  
團司令官、トマス、ホルコム中將は、七名、華  
府を隨へ、最近のソロモン島の状況を報告す

可く飛行機を送り、本日華府に歸還  
したが、ソロモン島を出発せしは、去る十月廿  
三日にして、最近に、日本が大反手、米龍衣して  
米軍に數手退せられた直前であった。  
歸來せるホルコム中將は、海軍省に於て、記  
者團と会見、其質問に對し、同島の近況を  
語りたるが、其大要を左に記す。

米軍は、新に増援軍を得て、現在の兵數は  
日本軍よりも非常に多し。今後何  
の兵數とは言明し難いが、兎に用、優勢で  
あり、其上新に、戦術を用ゐることになり  
たれば、今後、日本兵の援軍が来るとし  
其止、陸軍を引續き、彼等を捕縛し  
得べし。米國海兵は、過去三ヶ月、殆んど前  
無に、戦手に疲勞して居るが、元氣は旺  
盛にあり、日本軍との搦戦の功名、誇りを  
された。米軍飛行機が、空中掃蕩に於  
て失はれた數は、總計六十三機であり、敵  
機の、三百十機に比し、半減した。一対五といふ  
成績である。去る八月七日、日本、ソロモン島  
東南部に於て、戦鬪に於て、日本機の失  
はれた數は、五百四十四機である。

一行は、ガダルカナルへ赴く途中に於て、ハル  
ミラ島其他の太平洋上の米國の前哨  
地をも視察した。

同、同將軍は、今後、日本、同方面への援軍  
増加は、可成りに困難なるべしと、予想して

ウルグワイ国 (二)

ウルグワイ国の経済は、強大なる隣国に似てゐる。小麦、玉蜀黍、亜麻、燕麥、大麦、葡萄酒を栽培することにはアルゼンチンに同じ。

南欧移民の到来により、農村は迅速に発達し、英國資本により、鉄道は延長せられ、一八三〇年に僅か七万人であった人口が俄かに三百万人の上りた。

國民經濟を建設するに大に役立つものは「氷藏法」で、爲に肉類、罐詰業が主要工業となり、米国の大ハッカーの会社もあるが、之に加ふるに、小麦、製粉所、葡萄酒醸造所、織物工場、皮革製製造所、製靴所等もある。多少燃料、電力の欠乏を訴へる嫌がある。

牧畜産業が此国の輸出の九割方を占め、其主要物は、羊毛、肉類、エキス、皮革、小麦、其他の穀類、リンシード、小麦粉等で、一九四一年には合衆国が此国産羊毛の大半市場であり、牛羊凍肉八万七千噸、罐詰肉類輸出の大廠家は英國であった。

ウルグワイ国は田野の開けたる国であるが、國民は多く都市に集中し、級差華に

して愛する大都會、モンテウイデオの人口七十万を算し、全國總人口の四分の一に近し。一九三九年十二月には、今回の戦争の最も劇的なる出来事が主都モンテウイデオの港外で起つた。即、独逸のボケーツ戰艦艦隊がラフスビー号が一時避難せしむる港を出て、其乗組員の手で沈没せしめた。英國の市にふるモンテウイデオは、西羅典亞米利加中の最良にして、取給動的な港の一つで、對外貿易の四分の三は、此港を通過し、板倉、埠頭、棧橋倉庫、税関等の改善便益の爲に數百萬弗投せられた。商工業の治論ふる外に、モンテウイデオは、遊覽地として有名であり、海濱には勝景地が連なつてゐる。

ワイヨミンク州に吹雪

ワイヨミンク州ハートマンテンのロロケールンセンターは、十月三日の夜吹雪に襲はれた。吹雪は夜中に起り、朝立朝は白一色にあつて、また、從つて寒氣酷烈、華州ヤキマの一月の寒さと思はせると、オナ一中隊オナ察の黒川氏への音信に傳へられた。

聖書講義

今日正六時半より  
オナ中隊社交室

講師 渡辺牧師

祈禱會 同、正七時半より

司會者 三原源治氏

綿花摘採許可取消

アリゾナ州フィニックス七日電 A.P. 西部防衛司令官、セル、エル、デラウイット中將は本日、シトニー、ピー、オスボンに對して、エヴ、ギラエイト中の日本人を、綿花摘採に使用する、暴行の許可を取消する旨を通知した。其効力は十月十二日限りとする。其理由は、綿花地帯一般に配する兵卒が手廻り兼好るといふに在り。

ガタルカナル島の名称起因

ガタルカナルといふ名は、十五世紀頃、西班牙の冒險家某が、同島の故郷の名を取つて同島に命名したものと云ふ。

紐月市の外国語新聞

ニューヨーク市には、八十九の外国語新聞紙があり、各異つた國語ニ十七を併せると、

短歌研究会詠草(第二回)

いたつきの妻よよせ来し文見つ、うつゝなればは曉の雨きく 大館静香  
白みくる花に未だも月身えそキヤンプの鐘の朝餉つけ来る 浦野一甫  
便りさ旋きびしく縛られて今日も心に無き事を重く 安達涼雨  
秋晴れの眞書しつけさ荒野原家並みさ低く人等住みなす 小田杜公  
住み馴れし假家の庭にのみくし今を盛りものコスモス花 岡本幽花  
朝また垣根によれるコスモスの花はうき

英語だより

い、謎々にかも似る 許非又浦人  
吸ふすべを知らざるゆれも今日もけ小ハ  
イ、フ作りつ波波せへの土産と、谷口屋路  
(つづく)

Her name is "Lulu." (2) She is our sergeant's puppy. (3) She likes to play. (4) She is awfully cute. (5) She reminds me of my dog. (6) I had no time to say good-bye to my dog when I left home. (7) And when my folks had to leave home, they told the dog he could not go with them. (8) He looked sad, they wrote me later. (9) And, strange to relate, he had disappeared during that night. (10) It was two days before they left home to live in another place that they learned the dog was found dead on highway. (11) He was run over by a car. (12) The school janitor told my children about him. (13) And I read about him in a letter sent to Santa Fe.

